



訪問ガイド 2026

モンソロー城

モンソロー から 12€

<https://chateau-montsoreau.visit-tickets.com/ja/> ・ 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

川床に立つルネサンスの奇跡

GOOGLE **3.4** ★★★★★ 1495 レビュー

TIQETS **3.8** ★★★★★ 14 レビュー

モンソロー城の歴史は、紀元1000年頃にフルク・ネルラによって築かれた要塞にまで遡ります。この戦略的な岩盤は、ガロ＝ローマ時代からロワール川の流れを制御する重要な拠点であり、中世を通じてアンジュー防衛の要として機能しました。千年の要塞が、後に現在の城郭へと姿を変える基盤となったのです。

現在のルネサンス様式の城は、百年戦争終結後のシャルル7世治下で建設が始まりました。ジャン2世・ド・シャンプールはヴェネツィアでの外交経験を活かし、イタリアの影響を受けた設計を導入しました。軍事用のゴシック様式から居住空間としてのルネサンス様式への移行を象徴し、二連窓やロτζジャといった要素が厳格な塔と対比されています。

世界で唯一、直接川床に建てられたロワールの城として、その建築的独自性は際立っています。ロワール川とヴィエンヌ川の合流点を支配するこの位置は、ターナーなどの芸術家にインスピレーションを与え、水面への反射を生み出しました。水辺の孤城という地理的特異性が、その美しさを一層高めています。

2016年4月8日、フィリップ・メアイユのコレクションを受け入れる形で現代美術館として再開館しました。これにより、中世の石垣の中にArt & Language集団の世界最大級の作品群が収められ、歴史と前衛が衝突する新たな文化景観が誕生しました。

体験

城門をくぐると、重厚な中世の空気が訪れると同時に、白垂質石灰岩（トゥフェー）の壁が放つ静謐な光に包まれます。階段を上るにつれて、かつての騎士たちの足跡を感じさせる石畳が、現代アートへの入り口へと変わっていきます。時間の重層が、ここで視覚的に体験されるのです。

テラスに出ると、ロワール川とヴィエンヌ川が織りなすパノラマが広がり、夕暮れの黄金色の光が水面に映る城の姿を魔法のように変えます。室内では、コンセプチュアル・アートのテキストと理論が、歴史的空間と対話しながら、観客の知的好奇心を刺激します。川風と思考が交差する、他では得られない感覚です。



訪問の準備

実用的な情報

住所 Montsoreau・アクセス：A85高速道路ブルグエール出口、その後D960経由でシューメール/モンソロー方面へ。	営業時間 年中開館。夏季は延長営業（10h-19h）、冬季は短縮営業（12h-18h）。
料金 大人は12€から。学生および家族割引あり。	所要時間 美術館の部屋を落ち着いて探検し、Loire（ロワール川）を望む屋外を楽しむために、約1h30 à 2h（1時間半～2時間）を計画してください。
写真撮影 La（写真撮影は）フラッシュなしで許可されています。Profitez de la（夕方の光を活用して）ロワール川に反射する白いタフ石を捉えてください。	対象層 Idéal（現代アートと歴史の愛好家に最適）。Adapté aux familles（説明板を読むことで5歳以上の子供を含む家族に適応可能）。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

 自動車

アンジェ空港 (163 min)・トゥールズ＝ヴァル・ド・ロワール空港 (185 min)

 自転車

アンジェ空港 (223 min)・トゥールズ＝ヴァル・ド・ロワール空港 (255 min)

LOCALISATION

Où se trouve モンソロー城？



📍 Passage du Marquis de Geoffre — 49730 モンソロー

🌐 47°12.941' N, 0°3.753' E



組織

城郭内の展示構成と動線

地下階・中世の基礎

城の基部には、中世の防御構造が残されており、石造りのアーチと狭い通路が当時の軍事的重要性を示しています。ここからは、川床に直接建つ城の基礎部分を確認でき、水の侵食から守るための工学的工夫が見られます。暗い空間ながら、歴史の重みを肌で感じるエリアです。

地上階・常設展示室

Art & Languageコレクションの主要作品が展示されているメインフロアです。Mirror PieceやAir-Conditioning Showなどのインタラクティブなインスタレーションが配置され、観客が展示の一部になるよう招待されます。各パネルをよく読むことで、コンセプチュアル・アートの理論的背景を理解できます。

屋上テラス・展望デッキ

ロワール川とヴィエンヌ川の合流点を一望できるパノラマビューが広がります。特に夕暮れ時、17時30分頃には黄金色の光が白いタフ石を際立たせ、水面に映る完璧な反射を捉えることができます。川床に直接建つ城の地理的特異性を捉えるためのフォトポーズに最適なスポットです。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

一部バリアフリー対応。階層の詳細については受付までお問い合わせください。

ファミリー向け

5歳以上の子ども連れのお子様連れの家族におすすめ。パネル解説の併読を推奨します。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

必見のコンセプト・アート傑作

01 ART & LANGUAGE 常設展示室

Mirror Piece

このインタラクティブなインスタレーションは、観客が自分の姿を鏡に見つめることで、自己認識と芸術の関係を問いかけます。第四の壁の破壊を実現し、ロワール渓谷という歴史的枠組みの中で芸術と観客の境界を曖昧にします。

💡 作品の前で立ち止まる時間が、それ自体がパフォーマンスの一部となるよう設計されています。

02 ART & LANGUAGE 常設展示室

Victorine手稿

オペラ『Victorine』の台本手稿は、コンセプチュアル・アートにおけるテキストの重要性を示す象徴的作品です。文字と概念がどのように視覚芸術となるかを示し、言葉遊びの抽象性を理解する鍵となります。

💡 この手稿は、国際的なコンセプチュアルアートの絶対的な参照点として評価されています。

03 ART & LANGUAGE 常設展示室

Air-Conditioning Show

空調システムそのものを芸術作品として提示するこのインスタレーションは、環境と感知の関係を探求します。温度変化が観客の体験に与える影響を可視化し、不可視な力を芸術の対象とします。

💡 展示室の気温設定が、作品の意味を決定づける重要な要素となっています。

04 外観

南面ファサード

水に直接面している唯一のファサードであり、ジャン2世・ド・シャンブーによるイタリア・ルネサンス様式の詳細が観察できます。より厳格な中世の塔と対比させ、スタイルの転換点を体現しています。

💡 ヴェネツィアで見たモデルに触発されて再設計された、フランスにおけるルネサンス建築の先駆けです。

05

地下階

川床からの基礎

世界で唯一、直接川床に建てられたロワール地方の城であることが確認できます。15世紀に建設され、ロワール川とヴィエンヌ川の合流点を支配するユニークな建築的反射を生み出しました。

💡 ターナーら多くの芸術家が、この特殊な位置関係からインスピレーションを得ました。

06

地上階

二連窓とロジgia

イタリアのルネサンスの影響が見られる建築要素で、以前の軍事的ゴシック様式との大きなスタイル的断裂を示しています。光を取り込む設計が、居住空間としての機能を強調し、文化的開放を象徴しています。

💡 ジャン2世・ド・シャンブーがヴェネツィア大使として目にしたデザインが反映されています。

07

博物館スタッフ 全展示室

解説パネル群

コンセプチュアル・アートはしばしばテキストや理論に基づいているため、説明パネルの読解は不可欠です。イギリスの集団Art & Languageが展開する言葉遊びや抽象的な概念を理解するには、丁寧な読解が必要です。

💡 パネルを読まないまま見学すると、作品の半分以上的な意味を見逃すことになります。

08

屋上テラス

夕暮れのテラス

最後の明るい時間帯、理想的には夏なら17時30分頃に、対岸または博物館のテラスで水面に映る完璧な反射を捉えましょう。空とのコントラストが素晴らしい写真撮影スポットです。黄金色の光が城を際立たせます。

💡 フラッシュなしで許可されているため、自然光を活用した撮影が推奨されています。

アドバイス

完璧な訪問のための実践的アドバイス

TIMING

週末は正午前にお越しください。無料駐車場「クアイ・アレクサンドル・デュマ」は15台しか停められずすぐに満車になります。夕暮れ時の写真撮影を狙う場合は、夏季17時30分頃を目安に計画してください。

BILLET

カップルで再来訪予定の場合は、47ユーロのデュオパスがコストパフォーマンスが高いです。12ヶ月間で2回入場可能であり、臨時展示のプログラムを追うことができます。繁忙期（4月～9月）および週末にはオンライン予約を強く推奨します。

PARCOURS

まず屋内の常設展示を解説パネルを読みながらゆっくり鑑賞し、最後に屋外テラスで夕暮れの景色を楽しむ順序がおすすめです。約1時間半から2時間を計画してください。

PHOTO

テラスからのロワール川とヴィエンヌ川の合流点のパノラマビューが最高です。特に夕方の光を活用して、水面に反射する白いタファース石を捉えてください。フラッシュなしで撮影可能です。

PAUSE

城の麓にある「レストラン・レ・カイ」で、川と城を直接望む眺めの付いた季節料理を楽しみましょう。ユネスコ遺産を前にした昼食や夕食のための洗練された雰囲気を提供しています。

ENFANTS

5歳以上の子供を含む家族に適応可能です。説明板を読むことで、子供たちもコンセプチュアル・アートの概念に触れることができます。庭園での自由な動きも楽しめます。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドが利用可能です。ただし、コンセプチュアル・アートの場合、書面の解説パネルをじっくり読む方が理解が深まります。ガイド付きツアーも複雑な作品の解説に役立ちます。

CONFORT

歩きやすい靴を履いてください。中世/ルネサンス期の城の一部には階段があります。下部エリアおよび博物館へのアクセスは一般的に容易ですが、移動制限のある方は受付にお問い合わせください。

よくある質問

よくある質問

モンソロー城の入場券はいくらですか？

大人料金は12€です。学生（10€）や求職者向けの割引料金もあります。グループ見学時の予算を最適化するために、ファミリープラン（大人2名＋子供2名）が29€で提供されています。

年間パスはありますか？

はい、博物館では個人用パス30€とデュオパス47€を提供しており、どちらも1年間有効です。再来するか、翌年に友人を連れてくる予定がある場合、常に変化するプログラムを最大限に活用できるため、コストパフォーマンスの高いオプションです。

事前に予約する必要がありますか？

繁忙期（4月～9月）および週末には、オンライン予約が強く推奨されます。これにより入場が保証され、窓口での待ち時間を短縮できます。閑散期には、事前予約なしで直接アクセスできることが一般的です。

必見の作品は何ですか？

Mirror Piece、Air-Conditioning Showのインスタレーション、そしてVictorineの手稿は見逃さないでください。これらのArt & Languageコレクションの主要作品は、歴史的空間と現代のコンセプチュアル・アートとの対話を完璧に示しています。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

博物館と屋外エリアを含む完全な見学には約1時間半から2時間を計画してください。コンセプチュアル・アートの解説パネルを読む時間を取ってください。これらは、ロワール渓谷の中心という独自の文脈の中で完全に理解され、鑑賞されるためには考察が必要です。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

世界唯一の川床城

モンソロー城は、ロワール地方の城の中で唯一、直接川床に建てられています。この建築的奇跡は、15世紀の技術革新と戦略的必要性の結果であり、水面への反射を生み出す独特の美的効果を持っています。

Art & Languageの世界最大コレクション

博物館はArt & Language集団の世界最大のコレクションを収蔵しています。1990年以来フィリップ・メアイユによって集められたこのコレクションは、国際的なコンセプチュアルアートの絶対的な参照点であり、その全体像が他で見られることはほとんどありません。

ヴェネツィアの遺伝子

ジャン2世・ド・シャンブーは、ヴェネツィアで見たモデルに触発されて建築を再設計しました。イタリアのルネサンスの影響は、二連窓やロッジアに見られ、フランスにおけるルネサンス建築の先駆的な例となっています。

ユネスコの世界遺産

このサイトは文化景観としてユネスコの世界遺産に登録されています。城の建築的価値だけでなく、ロワール渓谷における調和ある統合も強調されており、保護された風景セットの中で川上の位置により独特です。

博物館周辺

城の周辺には、フランスで最も美しい村の一つに選ばれたモンソロー村があり、石畳の路地とタフ石の家々が歴史的な散策を誘います。近くにはロワール川とヴィエンヌ川の間に佇むモンソロー花公園があり、パノラマビューと希少な植物コレクションを楽しめます。食事には、川と城を直接望むレストラン・レ・カイがおすすめで、ユネスコ遺産を前にした洗練された雰囲気の中で季節料理を味わえます。さらに、シューメールの国立騎術学校やフォンテヴロー修道院も近隣にあります。

モンソロー城は単なる観光地ではなく、歴史と現代芸術が会う生きた舞台です。川の流れとともに変容してきたこの場所を訪れることは、過去と未来の境界線を歩むような体験となります。鏡の中の自分を見つめる時間を持ち帰りましょう。